

土木施工管理技士会報

発行所

長野県土木施工管理技士会

〒380-0824 長野市南石堂町1230

長建ビル

☎026-228-7200

発行責任者 野 島 登

作 成 新 建 新 聞 社



サンプロアルウィン（松本平広域公園球技場）

目

次

長野県に義援金を贈呈……………	2
第35回通常総会……………	3
令和元年度会員表彰……………	4
令和元年度技士会事業報告……………	5
県との意見交換会……………	6～7
現場技術研修会・雨中トンネル……………	8
i-Con、BIM/CIM講習会 ／登録解体制度……………	9

令和元年度技術者セミナー等開催一覧 ……………	10～11
令和元年度技士会役員……………	12
令和元年度技士会委員会……………	13
会員のこえ……………	14～15
佐久支部・須田聡／伊那支部・福澤康男 ／長野支部・小山田雄治	
会員異動状況一覧……………	16
編集後記……………	16

長野県に義援金を贈呈 「被災者の支援に役立てて」

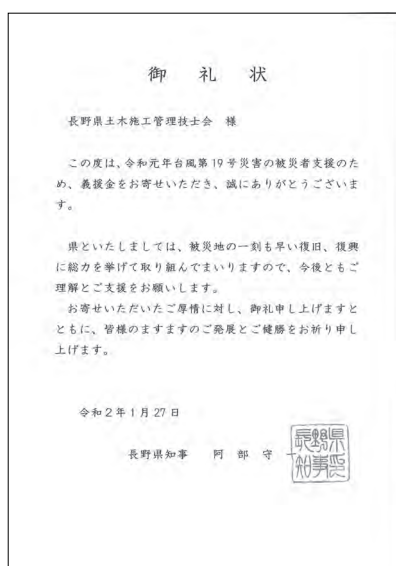


当技士会は1月27日、正副会長が県庁を訪れ、昨年10月の台風19号の被災者支援に向けた義援金を届けた。

野島会長は「台風19号で被災した方々の支援に利用してほしい」と、県会計管理者の塩谷幸隆会計局長に50万円を手渡した。塩谷局長は復興に向けた「ONE NAGANO」や「気候非常事態宣言」を引き合いに、復旧に向けた協力の継続を求めた。

同会は、1985年12月の設立で会員は現在427社で3340人。野島会長は「ピーク時に比べて会員が半減した。事業量の変化とともに会員数が減少してきており、今回のような災害などによる急激な事業量の増加には対応できないのが実情だ」と、建設業界の抱える課題を話し、「県建設業協会とともに協力しあい少しでも力になりたい」と語った。

同席した県建設部技術管理室の青木謙



通室長は「本格的な災害復旧に入ると、技術者の不足は考えられる。復興JVなども導入したので、いっしょになって地域のために一早く復旧していきたい」と協力を求めた。

第35回通常総会を開催

担い手確保と技術力向上



当技士会は昨年6月25日に第35回通常総会を開催し、平成30年度事業報告や収支決算を承認し、令和元（2019）年度事業計画や収支予算を決めた。各種研修会や講習会、発注部局との技術意見交換会を開催して会員の技術力向上を図るとともに、書類簡素化にも引き続き力を入れ、現場技術者の負担軽減につなげる。

令和元年度の長野県の公共事業予算は前年度比約3割の増加となっており、野島会長は防災・減災、国土強靱化をはじめとしたインフラ整備の推進に「会員一丸となって責任を果たす」とあいさつ。「担い手確保や技術力向上など取り組む

べきことは多い。建設業協会と連携を取りながら対応策を実施していきたい」と述べた。

祝辞を述べた県建設部技術管理室の中島俊一主任専門指導員は、繰越を合わせ9月までに6割以上の発注契約を目指すとともにICT工事や週休2日工事の全面導入で業界の働き方改革を支援すると方針を説明。県建設業協会の木下修会長は「5年後には高齢化により現場技術者の25%がいなくなる」とし、両団体の共通課題として若者の確保・育成に取り組む姿勢を示した。

令和元年度 全国土木施工管理技士会 連合会長表彰受賞者

(敬称略)

表彰規 定項目	受賞者名	備考
第3条	窪田利行	永年にわたり役員、または委員会の委員として尽力し、その功績が顕著な方。(正会員の理事・監事)
	安野正和	
第4条 第2項	小林孝	優良工事として表彰された公共工事に、監理技術者または主任技術者として従事した技術者で、他の模範となる方。
	足立進	
	齋藤孝一郎	
	石川貴弘	
	塚田健二	
	小幡敦	

第23回 土木施工管理技術論文・技術報告表彰者名簿

(敬称略)

賞	題名	表彰者名
技術論文 特別賞	見えない危険から作業員を守る取り組み	西澤成範 小林信敬
技術報告 特別賞	鋼矢板引き抜きにおける工夫	刈間亘二

令和元年度 長野県技士会長表彰該当者名

(敬称略)

支部名	該当者名	該当者名	該当者名
南佐久	渡邊章司		
佐久	柳澤洋一	高橋剛	
上小	金井進		
諏訪	藤森公仁雄		
伊那	織田陽一	新井正文	
飯田	竹村政英	浦上高広	
木曾	下野修二		
松筑	奥原基晴	片木武	
安曇野	飯田秀穂		
大北	藤岡毅	木島真二	那須野進
更埴	海沼隆一		
須坂	鈴木悦夫		
中高	浦野賢治		
長野	荻原雅彦		
飯山	下田友三		
合計	21名		

令和元年度長野県技士会事業報告

- 4月17日 「建設業安全管理講習会 安全パトロール」(建災防と共催)
(諏訪支部 4月17日)以後3月19日までに112回開催
- 5月14日 監査会、役員会
①会計監査
②30年度事業報告、30年度収支決算報告
③元年度事業計画(案)、元年度予算(案)審議
④第35回通常総会開催について審議
- 5月31日 (一社)全国土木施工管理技士会連合会 通常総会(東京都内)
①30年度事業報告及び収支決算に関する件
②元年度事業計画及び収支予算(案)について
③表彰式
- 6月25日 第35回通常総会開催 長野市(ホテル信濃路)
①全国技士会連合会(全技連)会長表彰伝達 8名
②土木施工管理技術論文・技術報告表彰伝達 3名
③長野県技士会会長表彰 21名
④30年度事業報告、30年度収支決算承認
⑤元年度事業計画(案)、元年度予算(案)会議決、
⑥会員による技術発表
- 7月17日 「より良い設計図書作成のためについて」印刷配布必要部数調査
必要部数:技士会内部及び長野県・市町村へ配布予定 585部報告
(10月1日付各支部へ配布)
- 9月12日 (一社)全国土木施工管理技士会連合会 現場視察 広島県参加2名
～13日 ①9月12日～広島市阿佐南区災害復旧現場、高速道路公社5号線現場
②9月13日～ 県市内道路・河川災害復旧現場
- 10月16日 登録解体工事講習会(松本市)
～18日 (参加182名)
- 11月13日 現場技術研修会(小谷村 雨中2号トンネル)
(白馬村 白馬ジャンプ台)(参加37名)
- 11月19日 中間会計監査
11月19日 役員会
①上半期事業報告、上半期会計収支報告及び会計監査報告
②講習会・技術者セミナー等の実施状況について
③「より良い設計図書作成ため」の冊子の配布について
④長野県公共事業担当部局及び会計局との意見交換会について
⑤令和元年度 表彰事業実施のための推薦依頼について
⑥監理技術者兼務及び施工管理技士補の役割に関するアンケートにつ
いて
- 11月19日 監理技術者兼務及び施工管理技士補の役割に関するアンケート調査
- 11月29日 正副会長等打合せ会議(全技連表彰推薦他)
- 12月12日 令和元年度全技連事務局長及び実務担当者会議(東京都内)
- 12月26日 正副会長等打合せ会議(全技連表彰推薦他)
- 1月15日 第1回技術委員会
①長野県公共事業担当部局及び会計局との意見交換会議議題検討
新規提案議題、要望事項の決定
- 1月27日 「令和元年台風第19号災害義援金」長野県への贈呈
(塩谷会計管理者へ贈呈、正副会長出席)
- 2月13日 長野県公共事業担当部局及び会計局との意見交換会(長野市)
- 2月18日 関東ブロック現場見学会及びブロック会議(茨城県 水戸市他)
- 2月21日 「i-constructionの現状」及び「BIM/CIMの活用等」講習会(松本市)
(参加 117名)
- 3月31日 長野県土木施工管理技士会報51号発行
- 4月1日～ CPDS入会手続き随時(事務局)・会員名簿の管理(事務局)
- 講習会**
6月5日～6月7日 1級土木受験準備講習会(学科)(松筑建設会館)受講者数20名
9月4日～9月6日 2級土木受験準備講習会()受講者数71名
9月10日～9月11日 1級土木受験準備講習会(実地)()受講者数22名

書類簡素化の県の前進を要望 働き方改革や生産性向上に必須



23議題をめぐって意見交換した

当技士会は2月13日、県発注部局との意見交換会を長野市内で開催した。

技士会から正副会長と理事・監事、技術委員らが出席。県からは建設部技術管理室、同道路建設課、会計局契約・検査課、環境部生活排水課、農政部農地整備課、林務部森林政策課の各担当者が参加した。

冒頭、野島会長は技術者や技能者の不足に対して「県当局においても若年者の建設業への入職促進や資格取得者への支援、国への提案などさらなるバックアップをお願いしたい」と要望。さらに働き方改革や生産性の向上が叫ばれる中、技士会が長らく求めてきた竣工書類の簡素化について「引き続き取り組まれ、担当

現場技術者の負担軽減につながっていくことを期待したい」と述べた。県技術管理室の青木謙通室長は県の取り組みとして昨年から専門課程のある高校の生徒を対象にした資格取得支援を産官学で行っていると説明。「次世代を担う技術者の育成に協力いただきたい」として理解を求めた。

意見交換会では、工事書類の簡素化について、技士会は県がこれまで現場における業務効率化の取り組みとして工事竣工書類の簡素化に向け取り組んできたものの、簡素化は進んでおらず、徹底されていないと指摘。運用以前より書類の量が増えたとの意見も紹介した。「(2015年11月より)請負金額1500万円以上の工事

について情報共有システム（ASP）の利用が必須となったが、いまだにASPを活用した協議書を印刷し、紙で検査を受け、紙で納品を求められる」として、ASPが機能していない発注者側の対応を改めてほしいと訴え、国土交通省工事と県工事との提出書類の比較表を示した。

これに対して県は「いろんな場面で課題となっており、提示いただいた参考資料なども参考にし引き続き書類簡素化の取り組みを進めていきたい」（技術管理室松林純一専門指導員）とし、情報共有システムについては「二重提出を求めないようにしているが、そういった点があることを承知している。着手時に協議した資料以上のものは求めないよう発注機関に周知して参りたい」（同）とし、さらに「（県として）認識がなかった部分もある。国の書類との標準化を考える中で地域を支える建設業検討会議でも議論しているが、なかなか前に進めない。具体的な話は技士会とさせていただきたいと協会とも話をしている」（技術管理室玉川博之副主任専門指導員）との方針を伝えた。

また、出来形管理について技士会側から県の写真管理基準は国交省に準拠しているが、県工事では撮影頻度や提出回数が基準以上に求められると指摘。県は「施工計画時に受発注者協議の上、撮影頻度などを決めていると思うが、基本的には基準以上の書類提出を求めることがないよう発注機関に周知して参りたい」（同）とした。

当日はこのほか設計図書の内容や精度、支障物件の事前移転なども合わせ計12議題23件の新規提案と7件の要望事項をもとに、それぞれ質問、要望に県の担当者が回答した。受発注者間のコミュニケーションについて、飯田支部の取り組



みなどを参考にディスカッションも行った。

県技術管理室の中島俊一主任専門指導員は「キーワードは働き方改革と生産性向上。これらを加味しながら品質確保を必須で進めていきたい。支障物件の対応や設計図書の不備、現地調査の不足などをできるだけなくしていく」としつつ、「書類の簡素化が一番大事。働き方改革に直結する。逃げないでやっていきたい」と伝えた。

地すべり地帯を貫く難工事 雨中2号トンネルを見学



雨中2号トンネル坑口部。周囲に手厚いのり面对策が施されている

昨年11月13日に開催した現場技術研修会は、小谷村で工事が進む雨中2号トンネルを見学した。国道148号雨中・月岡バイパスの構造物で、一帯は地すべり地域にあたるうえ「雨中層」と呼ばれる軟らかい地盤。水抜きや抑止杭などさまざまな対策を施している。

バイパス区間は延長L2010m、幅員W6.5（8）m。この間に橋梁、トンネル、ボックスカルバート・スノーシェルターが連続。トンネル区間は地すべり想定線が掘削ルートと重なり「ここ数年は排水ボーリングや抑止杭の施工に7～8億円を投入し対策してきた」（大町建設事務所整備・建築課高嶋修課長補佐）。

工事は、糸魚川側から雨中2号トンネルL750mの掘削を進めているところで、同トンネルは2020年度の完成を目指し、7月中旬の工事開始から同時点までに

130mを掘削した状況だった。

施工担当の戸田・岡谷・鷺澤JVの坂本佑士監理技術者によると、雨中層は強度が低く風化しやすい地質で、前年度の切土工事でも斜面崩壊が発生したため坑口付近で追加ボーリング調査を実施。地すべり抑止工としてアンカー本数の追加や長さ・太さの変更を行うなど、のり面对策を見直し

た。また、掘削が村道直下を通り、土被りも薄いことから、あらためて影響度合いを解析したところ限界を超えたひずみ発生のおそれがあることを確認。追加ボーリング調査で得たデータを加えて先受工範囲の拡大や注入式側壁改良の追加を行い、ひずみの改善を図った。

掘削開始後も、脚部の沈下が管理レベルを超過。掘削を休止しても変位が止まらず、早期の沈下対策に迫られた。これに対しては、まず沈下を止めることを最優先して補強パイルを打設し薬液を注入。その後仮インバートを施工し、支持力の向上を図った。

こうした手間を強いられる雨中・月岡バイパスは、発注者・受注者とも口をそろえる「難しい工事」。全体で約95億円の事業費を投入し、2022年度の完成を目指している。

i-ConstructionとBIM/CIMの活用など学ぶ 講習会を本年度も開催



当技士会は、平成28年度、30年度に続き、令和元年度も全国建設業協同組合連合会様の支援を頂き、県建設業協会、県建設事業協同組合連合会との共催で、「i-Constructionの現状」および「BIM/CIMの活用等」講習会を2月21日に松建築建設会館で開催した。県建設部長様のご後援を頂いた。

講習会に先立ち、主催者を代表して県建設業協会の清澤副会長が挨拶。「建設

現場の働き方改革を推進し、持続的な担いが一助となると思われる。担当現場でICT技術を活用し、生産性向上に取り組むことをお願いしたい」と述べた。

講習会では、最初に関東地方整備局企画部技術管理課の大野宏之課長補佐から「i-constructionの現状とBIM/CIMの国土交通省の取組み」と「令和2年度国土交通省土木事業・業務の積算基準の改定」について説明を頂き、後半では、システムベンダー3社より3D点群高速編集ツールの紹介のほか、BIM/CIMについて調査から設計までの動画による解説や、BIM/CIMの支援（教育・実践運用等講習）についての説明があった。

当日は県建設部現地機関の参加者17名を含め、117名と多数が参加。技士会では今後も機会をみて、「i-construction」に関連した講習会の開催を検討して参ります。

登録解体工事講習の開催 松本市で10月16日～18日の3日間

県土木施工管理技士会と県建設業協会は昨年10月16日から18日までの3日間、松本安全衛生センターで講習会を行った。今回で4回目の開催。

＜これまでの開催実績…＞

1回目：平成30年2月28日～3月1日

受講者：575名

2回目：平成30年9月25日～9月28日

受講者：458名

3回目：平成31年3月1日 受講者：239名

4回目：平成31年10月16日～10月18日

受講者：182名

○協会員のみならず協会員以外の参加者もあり、限られた期間での講習のため大勢の受講者がありました。

○台風19号災害対応のため、受講できなかった申込者もありましたので、令和2年度の開催についても検討しています。

平成30年度 技術者セミナー等開催一覧表

平成31年3月末現在

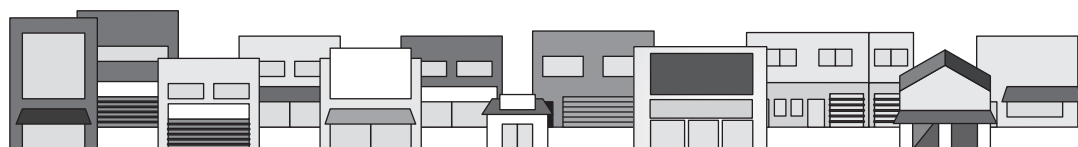
開催関係機関【支部】	プログラム	会 場	実施日	参加者
【南佐久支部】				
東信ブロック三支部	最新のi-Construction・ICT建設設計データ セミナー	佐久建設会館	2019/ 5/14	16
建設防南佐久分会	安全大会	佐久市コスモホール	2019/ 5/31	69
佐久建設事務所	技術者セミナー	佐久平交流センター	2019/ 7/ 8	75
建設防南佐久分会	三大災害絶滅推進大会	佐久市コスモホール	2019/ 7/30	60
東信ブロック三支部	現場における工事追加変更への技術折衝・施工提案力を鍛える セミナー	佐久建設会館	2019/ 7/19	23
建設防南佐久分会	現場安全パトロール報告会	南佐久建設会館	2019/ 9/10	31
東信ブロック三支部	「実践から学ぶi-Constructionの基本と応用」セミナー	佐久建設会館	2019/ 11/22	18
建設防南佐久分会	現場安全パトロール報告会	南佐久建設会館	2019/ 12/18	33
東信ブロック三支部	CPDSセミナー	佐久建設会館	2020/ 2/20	20
建設防南佐久分会	建設業労働安全マネジメントシステム「コンパクトコスモス」研修会	南佐久建設会館	2020/ 2/27	13
【佐久支部】				
東信ブロック三支部	「最新のi-Construction・ICT建機・設計データ」セミナー	佐久建設会館	2019/ 5/14	16
建設業協会佐久支部	基礎から学ぶコンクリート工事講習会	佐久建設会館	2019/ 6/28	34
建設防佐久分会	三大災害絶滅推進大会	佐久建設会館	2019/ 7/ 5	72
佐久建設事務所	技術者セミナー	佐久平交流センター	2019/ 7/ 8	68
東信ブロック三支部	「現場における工事追加変更への技術折衝・施工提案力を鍛える」セミナー	佐久建設会館	2019/ 7/19	19
建設業協会佐久支部	XII机の安全衛生教育	佐久建設会館	2019/ 10/29	12
東信ブロック三支部	「実践から学ぶi-Constructionの基本と応用」セミナー	佐久建設会館	2019/ 11/22	15
東信ブロック三支部	CPDSセミナー	佐久建設会館	2020/ 2/20	20
【上小支部】				
建設防上小分会／技士会上小支部	安全講習会	上小建設会館	2019/ 6/ 4	90
建設業協会・技士会上小支部／上田建設事務所	実務者による意見交換会	上小建設会館	2019/ 6/24	53
建設防上小分会／技士会上小支部	三大災害絶滅推進集会	上小建設会館	2019/ 7/ 2	81
上田建設事務所	技術者セミナー	上田文化会館	2019/ 7/ 5	100
技士会上小支部	ICT講習会	上小建設会館	2019/ 9/20	22
技士会上小支部	JCMセミナー「特別セミナー」	上小建設会館	2019/ 9/27	20
建設防上小分会／技士会上小支部 ／上田労働基準監督署	働き方改革研修会	上小建設会館	2019/ 10/18	33
建設防上小分会／技士会上小支部 ／上田労働基準監督署	令和元年度年末工事現場 安全パトロール報告会	上小建設会館	2019/ 12/ 5	84
【諏訪支部】				
技士会諏訪支部	建設業安全管理講習会・安全パトロール(防災防と共催)	諏訪建設会館 他	2019/ 4/17	12
技士会諏訪支部	建設業安全管理講習会・安全パトロール(防災防と共催)	諏訪建設会館 他	2019/ 5/23	14
技士会諏訪支部	建設業安全管理講習会・安全パトロール(防災防と共催)	諏訪建設会館 他	2019/ 6/19	12
技士会諏訪支部	建設業安全管理講習会(防災防と共催)	諏訪市文化センター	2019/ 7/17	77
諏訪建設事務所	技術者セミナー(第1回)	諏訪合同庁舎	2019/ 7/29	81
諏訪建設事務所	技術者セミナー(第2回)	諏訪合同庁舎	2019/ 8/ 5	83
技士会諏訪支部	建設業安全管理講習会・安全パトロール(防災防と共催)	諏訪建設会館 他	2019/ 8/21	12
技士会諏訪支部	建設業安全管理講習会・安全パトロール(防災防と共催)	諏訪建設会館 他	2019/ 9/20	16
技士会諏訪支部	建設業安全管理講習会・安全パトロール(防災防と共催)	諏訪建設会館 他	2019/ 10/16	12
技士会諏訪支部	工事現場における土砂崩壊災害防止対策研究会(防災防と共催)	諏訪建設会館 他	2019/ 11/ 7	22
技士会諏訪支部	建設業安全管理講習会・安全パトロール(防災防と共催)	諏訪建設会館 他	2019/ 11/18	12
技士会諏訪支部	建設業安全管理講習会・安全パトロール(防災防と共催)	諏訪建設会館 他	2020/ 1/16	11
技士会諏訪支部	諏訪支部技術者研修会(東日本建設業保証㈱と共催)	諏訪市文化センター	2020/ 2/12	74
技士会諏訪支部	建設業安全管理講習会・安全パトロール(防災防と共催)	諏訪建設会館 他	2020/ 3/19	12
【伊那支部】				
建設防伊那分会	三大災害絶滅集会	建設業協会伊那支部会議室	2019/ 7/ 3	114
伊那建設事務所他	技術者セミナー 第1回	長野県伊那文化会館	2019/ 7/25	157
伊那建設事務所他	技術者セミナー 第2回	長野県伊那文化会館	2019/ 7/26	147
上伊那舗装協会／伊那建設事務所	舗装技術研修会	屋外:伊那バイパス 室内:伊那支部会議室	2019/ 9/25	60
【飯田支部】				
技士会飯田	「固結系地盤改良工法及び優良技術者体験発表」講習	飯田建設会館	2019/ 4/23	116
技士会飯田	「指導監査・しゅん工検査における問題点・指導事項」 「i-Construction ICT建機の多様化について」	南信消費生活センター	2019/ 5/21	111
技士会飯田	1・2級土木施工管理技術検定試験 学科試験受験準備講習会(1日目)	飯田建設会館	2019/ 6/ 4	14
技士会飯田	1・2級土木施工管理技術検定試験 学科試験受験準備講習会(2日目)	飯田建設会館	2019/ 6/ 6	14
技士会飯田	1・2級土木施工管理技術検定試験 学科試験受験準備講習会(3日目)	飯田建設会館	2019/ 6/11	14
技士会飯田	1・2級土木施工管理技術検定試験 学科試験受験準備講習会(4日目)	飯田建設会館	2019/ 6/13	14
技士会飯田	「建設現場でのスマートフォン・タブレットP C利用セミナー」 「工事現場における安全管理と緊急連絡方法」	飯田建設会館	2019/ 6/18	109
建設業協会飯田支部／技士会飯田支部	第38回現場代理人安全講習会(第1回)	南信州・飯田産業センター	2019/ 7/ 9	162
建設業協会飯田支部／技士会飯田支部	第38回現場代理人安全講習会(第2回)	南信州・飯田産業センター	2019/ 7/16	150
飯田建設事務所	技術者セミナー(第1回)	南信州・飯田産業センター	2019/ 7/30	241
飯田建設事務所	技術者セミナー(第2回)	南信州・飯田産業センター	2019/ 7/31	207
技士会飯田	1級土木施工管理技術検定試験 実地試験受験準備講習会(1日目)	飯田建設会館	2019/ 9/ 3	10
技士会飯田	1級土木施工管理技術検定試験 実地試験受験準備講習会(2日目)	飯田建設会館	2019/ 9/ 5	10
技士会飯田支部／建設業協会飯田支部 飯田建設事務所	県との技術者研修会	飯田建設会館	2019/ 11/21	56
【木曽支部】				
木曽建設事務所	技術者セミナー	木曽合同庁舎	2019/ 6/24	82
技士会木曽支部／建設防木曽分会	三大災害防止絶滅推進集会	木曽建設会館	2019/ 7/ 3	41
技士会木曽支部／現場代理人会	土木現場技術者室内研修会	木曽建設会館	2019/ 7/24	39

開催関係機関(支部)	プログラム	会 場	実施日	参加者
技士会木曾支部 現場代理人会	室内技術研修会(午前) 現場技術研修会(午後) 室内技術研修会(午後)	木曾建設会館 会議室 南木曾町 読書 国道19号 神戸交差点改良工事 大糸土建(株) 会議室	2019/ 10/25	31
【松筑支部】				
技士会松筑支部	2019年度 JCMセミナーDVD講習「工事成績評定/工事評価点80点取する方法(テスト無)」①	松筑建設会館	2019/ 5/22	28
技士会松筑支部	2019年度 JCMセミナーDVD講習「事例から学ぶ「現場の失敗」のしくみ」①	松筑建設会館	2019/ 5/22	23
技士会松筑支部	2019年度 JCMセミナーDVD講習「建設業法完全解説」①	松筑建設会館	2019/ 5/23	34
技士会松筑支部	2019年度 JCMセミナーDVD講習「工事成績評定/工事評価点80点取する方法(テスト有)」①	松筑建設会館	2019/ 5/23	31
キャタピラー 教習所(株)静岡教育C / 技士会松筑支部	刈払機取扱業務安全衛生教育	松筑建設会館	2019/ 6/10	37
建災防松筑分会	令和元年度 三大災害絶滅推進研修会	松筑建設会館	2019/ 6/13	144
技士会松筑支部	2019年度 JCMセミナーDVD講習「建設業法完全解説」②	松筑建設会館	2019/ 7/16	17
技士会松筑支部	2019年度 JCMセミナーDVD講習「工事成績評定/工事評価点80点取する方法(テスト有)」②	松筑建設会館	2019/ 7/16	28
技士会松筑支部	2019年度 JCMセミナーDVD講習「工事成績評定/工事評価点80点取する方法(テスト無)」②	松筑建設会館	2019/ 7/17	13
技士会松筑支部	2019年度 JCMセミナーDVD講習「事例から学ぶ「現場の失敗」のしくみ」②	松筑建設会館	2019/ 7/17	19
松本建設事務所	令和元年度 技術者セミナー	松本合同庁舎 講堂	2019/ 7/31	196
技士会政策委員会 / 松本建設事務所維持管理課	第3回 道路河川管理情報システム説明会・模擬訓練	松筑建設会館	2019/ 8/ 8	92
県協会松筑支部・建災防松筑分会 / 技士会松筑支部	第1回 工事現場安全パトロール結果報告会・労働時間(働き方改革)に関する講話	松筑建設会館大会議室	2019/ 10/29	110
建設業協会松筑支部代人会 / 技士会松筑支部	令和元年度 代人会研修会「建設現場の原価管理」	松筑建設会館 大会議室	2019/ 11/19	62
【安曇野支部】				
安曇野建設事務所	技術者セミナー	安曇野庁舎	2019/ 6/26	55
安曇野建設事務所 / 安曇野市	令和元年度第1回建設・建築工事の現場研修及び室内研修会	安曇野庁舎	2019/ 10/ 3	60
安曇野建設事務所 / 安曇野市	令和元年度土砂崩壊災害防止対策研究会	安曇野庁舎	2019/ 11/28	60
安曇野建設事務所 / 安曇野市	令和元年度第2回建設・建築工事の現場研修及び室内研修会	安曇野庁舎	2020/ 1/23	50
【大北支部】				
大町建設事務所	技術者セミナー	サンアルプス大町(大町市)	2019/ 7/ 3	78
技士会大北支部	第1回現場代理人等研修会	大北建設会館	2019/ 5/ 8	39
技士会大北支部	第2回現場代理人等研修会	大北建設会館	2019/ 9/ 4	78
技士会大北支部 / 大北治山林道倶楽部	現場代理人研修会	南信州地域振興局内(林務課)	2019/ 9/ 9	28
技士会大北支部	第3回現場代理人等研修会	大北建設会館	2019/ 11/ 6	36
【更埴支部】				
技士会更埴支部 / 建災防更埴分会	建設業三大災害絶滅推進大会	更埴建設会館	2019/ 7/12	20
千曲建設事務所	技術者セミナー	千曲建設事務所	2019/ 7/17	50
千曲建設事務所	現地機関との技術懇談会	更埴建設会館	2019/ 8/23	24
【須坂支部】				
技士会須坂支部	技術者セミナー	須坂市中央公民館	2019/ 6/27	73
技士会須坂支部	技術者セミナー	須坂市中央公民館	2019/ 6/27	73
技士会須坂支部	技術者セミナー(労働安全セミナー)	須坂建設会館	2019/ 11/29	21
【中高支部】				
技士会中高支部	高校生現場見学会	・H30社会資本整備総合交付金(道路)工事 笠倉～藤田 ・H30防災・安全交付金(道路)工事 柳沢 ・木島平役場新庁舎建設工事	2019/ 6/26	27
技士会中高支部	現場技術者講習会	中高建設会館	2020/ 2/28	54
【長野支部】				
建設業協会長野支部 / 技士会長野支部	技術専門研修会(No.1)(JCMセミナー DVD講習会)	長水建設会館	2019/ 5/20	33
技士会長野支部	1.2級(学科)土木施工管理技士受験準備講習会(1日目)	長水建設会館	2019/ 6/ 1	31
技士会長野支部	技術講習会	メルバルク長野	2019/ 6/ 6	69
技士会長野支部	1.2級(学科)土木施工管理技士受験準備講習会(2日目)	長水建設会館	2019/ 6/ 8	31
技士会長野支部	1.2級(学科)土木施工管理技士受験準備講習会(3日目)	長水建設会館	2019/ 6/15	31
技士会長野支部	1.2級(学科)土木施工管理技士受験準備講習会(4日目)	長水建設会館	2019/ 6/22	31
長野建設事務所 / 千曲川流域下水道事務所 / 建設業協会長野支部 / 技士会長野支部	技術者セミナー	長野市東部文化ホール	2019/ 7/ 3	141
土房川砂防事務所 / 技士会長野支部	技術者セミナー	長水建設会館	2019/ 7/ 9	62
技士会長野支部	1級土木施工管理技士・実地 受験準備講習会(1日目)	長水建設会館	2019/ 9/14	12
技士会長野支部	1級土木施工管理技士・実地 受験準備講習会(2日目)	長水建設会館	2019/ 9/21	12
技士会長野支部	2級土木施工管理技士 実地受験準備講習会	長水建設会館	2019/ 10/12	21
建設業協会長野支部 / 技士会長野支部	技術専門研修会(No.2)(JCMセミナー DVD講習会)	長水建設会館	2019/ 11/ 7	41
建設業協会長野支部 / 長野地方事務所 / 長野建設事務所 / 浅川改良事務所 / 川中島水道管理事務所 / 千曲川流域下水道事務所 / 北信会計センター / 裾花ダム管理事務所	現地機関との意見交換会	ホテル信濃路	2020/ 2/20	81
【飯山支部】				
北信建設事務所	R元年 技術者セミナー	長野県北信合同庁舎	2019/ 7/11	51
岳北消防本部	普通救命講習会(1)	飯山建設会館	2019/ 7/26	27
技士会中高支部 / 技士会飯山支部	I-Construction セミナー	中高建設会館	2020/ 2/28	55
【長野県技士会】				
長野県技士会 / 長野県建設業協会	登録解体工事講習会	松本安全衛生センター	2019/ 10/16 ~10/ 18	182
長野県技士会	現場技術研修会(雨中バイパス2号トンネル、他)	小谷村、白馬村	2019/ 11/13	37
事業協同組合 / 長野県技士会 / 長野県建設業協会	「i-construction」の現状」及び「BIM/CIMの活用等」	松筑建設会館	2020/ 2/21	117

長野県土木施工管理技士会役員

(敬称略)

役 職 名		支 部 名	氏 名	会 社 名
会 長		飯 田	野 島 登	野 島 建 設 (株)
副 会 長		上 小	柳 沢 昌 美	東 部 開 発 (株)
		大 北	窪 田 利 行	(株) 相 模 組
理 事	東 信	南 佐 久	小 林 一 吉	(株) 小 林 組
		佐 久	小 林 俊 司	小 林 建 設 工 業 (株)
		上 小	佐 藤 公 明	(株) 羽 田 組
	南 信	諏 訪		
		伊 那	黒河内 勇 雄	黒 河 内 建 設 (株)
		飯 田	棚 田 稔	長 豊 建 設 (株)
	中 信	木 曾	奥 田 和 彦	奥 田 工 業 (株)
		松 筑	関 川 光 寿	(株) 関 川 組
		安 曇 野	小 松 保 久	(株) 小 松 組
		大 北	峯 村 浩 文	(株) 峯 村 組
	北 信	更 埴	中 沢 栄 一	富 士 建 設 (株)
		須 坂	市 川 勇 人	市 川 建 設 (株)
		中 高	下 田 文 雄	(株) 下 田 土 建
		長 野	和 田 幸 文	(株) 和 田 組
		飯 山	山 崎 宏 道	(有) 山 崎 組
	事 務 局	専 務 理 事	小 林 康 成	県 協 会 専 務 理 事
		常 務 理 事	手 塚 雄 保	県 協 会 常 務 理 事
監 事	東 信	上 小	栗 木 悦 郎	(株) 栗 木 組
	中 信	松 筑	草 田 章 夫	(株) 草 田 組
	北 信	飯 山	篠 田 秀 人	(有) 篠 田 組



技士会委員会

(敬称略)

担当副会長 柳沢 昌美		東 部 開 発 (株)	
	役 職 名	氏 名	会 社 名
企画委員会	委 員 長	黒河内 勇 雄	黒 河 内 建 設 (株)
	副委員長	小 松 保 久	(株) 小 松 組
	委 員	小 林 俊 司	小 林 建 設 工 業 (株)
	委 員	奥 田 和 彦	奥 田 工 業 (株)
	委 員	中 沢 栄 一	富 士 建 設 (株)
運営委員会	委 員 長	市 川 勇 人	市 川 建 設 (株)
	副委員長	佐 藤 公 明	(株) 羽 田 組
	委 員	関 川 光 寿	(株) 関 川 組
	委 員	下 田 文 雄	下 田 建 設 (株)
	委 員		
広報委員会	委 員 長	山 寄 宏 道	(有) 山 崎 組
	副委員長	小 林 一 吉	(株) 小 林 組
	委 員	棚 田 稔	長 豊 建 設 (株)
	委 員	峯 村 浩 文	(株) 峯 村 組
	委 員	和 田 幸 文	(株) 和 田 組

技士会技術委員会

(敬称略)

担当副会長 窪田 利行		(株) 相 模 組	
役 職 名	支 部 名	氏 名	会 社 名
委 員	南 佐 久	中 島 剛	(株) 中 島 組
〃	佐 久	黒 澤 和 之	大 進 建 設 (株)
〃	上 小	関 三喜男	(株) 宮 下 組
副委員長	諏 訪	藤 森 公仁雄	興 和 工 業 (株)
委 員	伊 那	福 澤 康 男	小 澤 建 設 (株)
〃	飯 田	山 本 仁	吉 川 建 設 (株)
〃	木 曾	宮 嶋 浩 己	大 宗 土 建 (株)
副委員長	松 筑	児 玉 一 良	(株) 望 月 組
委 員	安 曇 野	松 澤 建 治	(株) 松 澤 組
〃	大 北	原 滋 俊	北 陽 建 設 (株)
〃	更 埴	高 野 貴 博	富 士 建 設 (株)
〃	須 坂	山 口 修 司	(株) 旭 建 設
委 員 長	中 高	丸 山 浩 次	中 野 土 建 (株)
委 員	長 野	荻 原 雅 彦	(株) 守 谷 商 会
〃	飯 山	滝 沢 卓 也	(株) サ ン タ キ ザ ワ

会員のこえ



地域建設業の あり方

佐久支部 須田 聡

記録的な大雨により県内各地で大きな爪痕を残した台風19号。これまで経験したことがないほどの大雨にみわれ、佐久地方でも甚大な被害が出ました。今までニュースでしか見たことがない災害の光景が現実身近で起こり、災害の衝撃に圧倒され、実際に体験して強い恐怖や

不安に襲われました。

日本は、世界有数の急峻な河川を抱え、毎年襲ってくる台風や集中豪雨により河川の氾濫は土砂崩れなどが発生しています。さらに国土の約半分は豪雪地帯に指定されています。こうした厳しい自然環境において、災害から人々の生活を守るために、建設業は重要な役割を担っています。「地域の守り手・作り手」として、建設業が地域に、社会に貢献し、自らの持続可能性を高めていくためにも、現在直面するさまざまな課題を克服していかなければならないと感じています。



気候変動と建設

伊那支部 福澤 康男

平成14年ころかと思いますが、会員の皆さんも聞かれたかと思いますが関連団体の講演会で元官僚で工学博士の方が、日本における建設の歴史、これからの方向性、重要性和題してお話しされた中で、これからの日本は気候変動により温暖化が加速し、将来長野県の気候が名古屋と同じレベルになり山に雪が少なくて春先の農業用水の確保も大変な時代がやって来るという内容の話で、そのための社会インフラの整備を考え、進めていく必要性、重要性を訴えていました。長野県を襲った去年の台風災害、温暖な冬季と降雪量の減少といった事が現実になってきた今日を考えると、これからの重要課題で老朽化した社会インフラの維持、修繕

と合わせて災害に強いインフラ、減災対策といった建設が被災された地域だけでなく、県内全域で叫ばれるようになることと思います。私が建設業に携わって40年近くが経ち、製品とされるインフラや、それらを作るための機械、機器、技術等が、かつての自動車や電子機器を生みだしたとされる産業革命の如く、飛躍的な進歩があったかと思いますが、これからの半世紀が最も難しい時期を迎えていると思います。今、私たちが抱える担い手確保や若手の育成、生産性の向上といった建設技術等を取り巻く環境が大きく変わろうとしている今が、これからの建設の岐路かと思っています。そのためにも、元気で活力のある建設産業を継続していかなければなりません。



Member's Voice



台風19号災害を 体験して 思ったこと

長野支部 小山田雄治

10月12日夜半に起きた台風19号による甚大な災害により建設業の皆様が積極的に応急活動されました。災害に見舞われた地域の業者をはじめ、長野県全域の業者が被災地へ集結し応急活動を行ってくれました。本当にありがとうございました。

今回あらためて感じた事を率直に書かせていただきますが、自然の力の前には人間は無力だと感じました。荒れ狂う洪水の脅威の前では見ていることしかできなかった。まさかこんなことが起こるとは想像していませんでした。しかし、洪水

が去った後からは我々建設業の力が大きかったこと。多くの建設従事者が集結し、被災箇所を次から次へと応急処置をしていく様をみてあらためて建設業の必要性を感じました。昼夜問わず住民のために働く姿は市民の皆様の眼にはどのように映ったことでしょうか。

景気の良かった時代と違い、現在、建設業者は疲弊しています。それでも有事の際には「いざ!」という気概で災害現場に飛び込んでいきます。現場を仕切る現場代理人は、普段の現場で得た経験をもとに、現場の状況を一瞬で見極め、安全、人員、必要機材、必要資材など段取りし的確に応急活動してくれます。そんなことができるのも建設業しかいません。こんな状況を踏まえ、建設業の必要性を説く社会を構築いただければと考えます。

～ 土木技術者の資格取得に向けて ～

(松本会場)

1級土木施工管理技術検定試験・実施までのスケジュール

	学 科	実 地
願書受付期間	令和2年3月17日(火)～3月31日(火)	学科免除者: 3月17日(火)～3月31日(火) 令和2年度学科合格者: 8月20日(木)～8月31日(月)
願書発売開始	令和2年2月21日(金)～	
試 験 日	令和2年7月5日(日)	令和2年10月4日(日)
合 格 発 表	令和2年8月20日(木)	令和3年1月15日(金)
受験準備講習会	令和2年6月3日(水)～6月5日(金)	令和2年9月7日(火)～9月8日(水)

2級土木施工管理技術検定試験・実施までのスケジュール

	前期試験	後期試験
願書受付期間	令和2年3月4日(水)～3月18日(水)	令和2年7月7日(火)～7月21日(火)
願書発売開始	令和2年2月21日(金)～	令和2年6月22日(月)～
試 験 日	令和2年6月7日(日)	令和2年10月25日(日)
合 格 発 表	学科: 令和2年7月7日(火)	学科: 令和3年1月15日(金) 学科・実地: 令和3年2月3日(水)
受験準備講習会	前期については準備講習会はありません。	令和2年9月2日(水)～9月4日(金)

◎問合せは、長野県建設業協会本部、または長野県土木施工管理技士会本部(☎026-228-7200)へ

会員異動状況一覧表

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

支 部	前年度会員 数(名)	異 動 状 況		計(名)	増 減
		入会(名)	退会(名)		
南佐久	163	7	11	159	△ 4
佐 久	271	8	4	275	4
上 小	121	2	9	114	△ 7
諏 訪	242	6	7	241	△ 1
伊 那	438	22	22	438	0
飯 田	447	25	31	441	△ 6
木 曽	133	4	3	134	1
松 筑	375	23	18	380	5
安曇野	60	13	11	62	2
大 北	297	21	12	306	9
更 埴	49	0	6	43	△ 6
須 坂	77	2	6	73	△ 4
中 高	61	2	1	62	1
長 野	472	13	25	460	△ 12
飯 山	140	21	11	150	10
合 計	3,346	169	177	3,338	△ 8

*3月1日～3月31日の間に会員異動が予測されますので2月末までとしました。

*通常総会では平成31年4月1日～令和2年3月31日間を報告します。

編 集 後 記

昨年(2019年)の10月に長野県を襲来した台風19号は、東北信地区を中心に甚大な災害をもたらしました。被災者の皆様、お亡くなりになった皆様には、心よりお見舞い申し上げると伴にお悔やみ申し上げます。



会員の皆様には、災害発生後から、応急復旧等で、大変お忙しい毎日をお過ごしのことと思います。災害復旧工事を一日も早く終わらせ、地域住民の皆様に安全、安心を取り戻す事は、建設業者の役割であり、使命です。

本年は、災害復旧工事をはじめ国土強靱化工事もあり、膨大な工事量を消化することが求められます。長年の建設不況、少子高齢化により、減少した建設業者、技術者、作業員、職人を考えると実際に対応できるか心配になります。

建設業界が抱えてきた問題がこの災害

を機にクローズアップされることになるのではと危惧されます。また、昨年は「働き方改革」の元年でもありました、今、建設業界は、担い手の確保、育成が緊急の課題となっています。若者が建設業界で働きたいと思える様な労働環境の改善、ICTの導入を始めとする技術力、生産性の向上、省力化への取り組みが重要と成っています。

本年は、災害復旧をはじめ多くの仕事において建設業者の活躍が一段と期待される年です。地域住民の安全、安心を守るため、それぞれの立場で最大限の努力をすることが、業界の信頼と発展に繋がる事と思います。7月には東京オリンピックが開催されます、無事成功を祈ると共に建設業界の未来に向けて明るく、希望のある年に成ることを願います。

最後になりますが、今回の発刊に際し、寄稿して頂きました方々に心より感謝申し上げますとともに、会員の皆様方のご健康とご活躍をお祈り申し上げまして、編集後記といたします。

(南佐久支部 小林一吉)